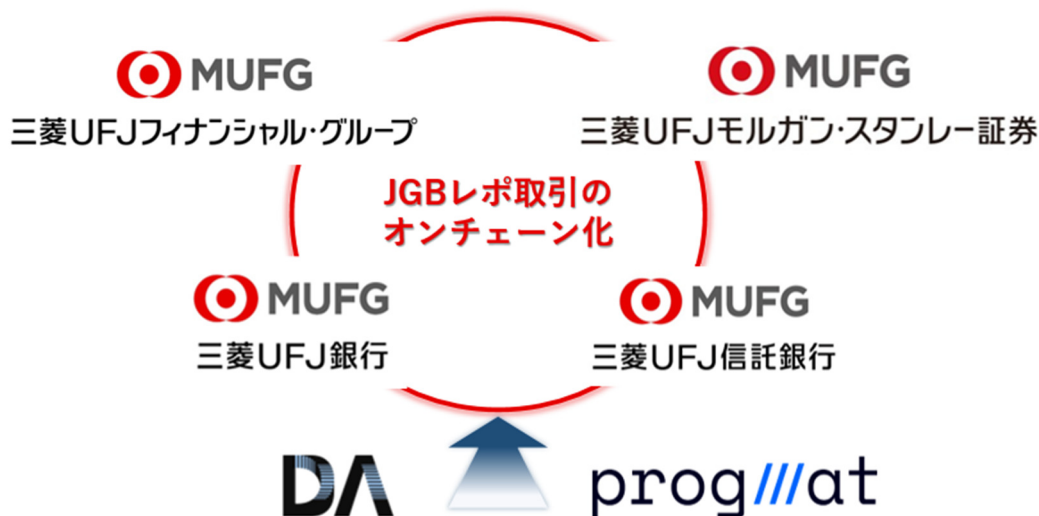


2026 年 8 月 13 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
三菱 UFJ 信託銀行株式会社
株式会社三菱 UFJ 銀行

日本国債(JGB)レポ取引のオンチェーン化に係る実証実験開始について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 半沢 淳一、以下 MUFG）、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 関 浩之、以下 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券）、三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 窪田 博、以下 三菱 UFJ 信託銀行）、株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 大澤 正和、以下 三菱 UFJ 銀行）の 4 社は、Digital Asset Holdings, LLC（CEO Yuval Rooz, 以下 DA 社）および Progmatic, Inc.（代表取締役 齊藤 達哉、以下 Progmatic 社）とともに、機関投資家向け金融に特化して構築されたブロックチェーンである「Canton Network（カントン・ネットワーク）」を活用した、日本国債（JGB）レポ取引のオンチェーン化に係る実証実験に関する協業を開始します。



1. 本実証実験に取り組む背景・目的

金融市場におけるブロックチェーン技術を活用した取り組みとして、国内では発行市場において債券や不動産などを裏付け資産としたセキュリティトークンの組成が拡大してきました。近年では、海外において、取引ライフサイクルの自動化などによる業務効率化や、24 時間 365 日リアルタイムでの決済による資金・資本効率向上等を目的として、流通市場における金融取引をブロックチェーン上で実装するオンチェーン化の実証実験や実用化の取り組みが進んでいます。特に、欧米では、国債の日中（取引当日に開始・終了する）レポ取引の実証実験が急速に拡大し、米国債の日中レポ取引は商用サービスも稼働しています。

日本国債（JGB）はその信用力・流動性の高さから、レポ取引の担保として国内外の市場参加者に広く活用されており、オンチェーン化の機運や期待が高まりつつあります。MUFG は、これまで様々

なオンチェーン金融事業に取り組み、また、JGB を取り扱う本邦最大の金融グループとして、JGB の流動性や決済関連サービスを提供しています。オンチェーン上でも同様の機能・サービスを継続的に提供することが、金融市場の発展と投資家利便性の維持・向上の観点から不可欠であると考えています。こうした背景を踏まえ、MUFG は下記の通り、JGB レポ取引のオンチェーン化に係る実証実験に関する協業を開始します。実証実験およびその後の社会実装に向けては、関係当局との適切かつ深度あるコミュニケーションに加え、MUFG のみならず、国内外の金融機関を含む様々な市場参加者等と一緒に取り組みたいと考えています。また、グローバルな戦略的資本提携先である Morgan Stanley と連携しながら、本取り組みの発展をめざしていきます。

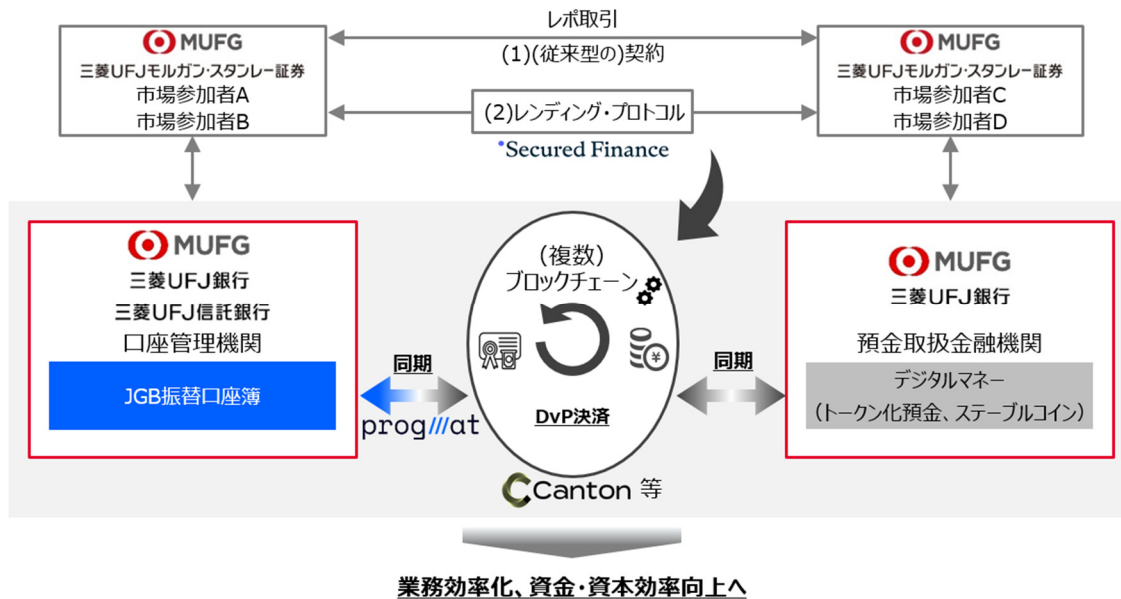
なお、本実証実験は、本年 2 月に金融庁「決済高度化プロジェクト (PIP)」の支援決定を受けた実証実験の一部として取り組んでいきます。

2. 本実証実験（レポ取引のオンチェーン化）の取り組み概要

項目		1. JGB およびデジタルマネーのオンチェーン同時決済(DvP) ^{※1}	2. レポ取引のライフサイクル全般のオンチェーン化
実施内容		先行事例も参考に、JGB の振替国債としての法的性質は維持しつつ、ブロックチェーンと連動して口座管理機関が有する振替口座簿を更新 デジタルマネーとしてトークン化預金やステーブルコインの利用を検討	1.と同様の仕組みにより、Secured Finance AG (Founder &CEO Masakazu Kikuchi、以下 SF 社) が提供するレンディング・プロトコル ^{※2} を活用し、一連のプロセスを自動化
期待される効果		レポ取引のライフサイクル全般の自動化等による業務効率化 リアルタイム日中レポ取引の実現と決済時間の拡大による資金・資本効率向上	
関係各社の役割	DA 社	ブロックチェーン「Canton Network」を活用したトークン化の仕組みを提供するとともに、トークンの発行・管理を支援する	
	Progmatic 社	ブロックチェーン技術を活用した日本国債の振替とそのレポ取引への応用について、既存実務を分析のうえプロダクト化を含めて支援	
	SF 社	—	レポ取引のライフサイクルをレンディング・プロトコルに実装

^{※1} (1) では、ブロックチェーンの活用は決済に限定しつつも、レポ取引のライフサイクル全般の電子化等による業務効率化も検討します。^{※2} レンディング・プロトコルとは、ブロックチェーン上で動作するスマートコントラクト（事前に定めたルールに従い、取引や状態更新を自動実行するプログラム）により担保付資金取引を自動化する仕組みです。

<本実証のイメージ>



<MUFG 各社の役割>

市場参加者： 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJ銀行

口座管理機関： 三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行

預金取扱金融機関： 三菱UFJ銀行

3. MUFG について

MUFGでは、自社のパーパス（存在意義）を「世界が進むチカラになる。」と定め、全てのステークホルダーが次へ、前へ進むチカラとなるためにグループ一丸となり、お客さまや社会の皆さまと共に挑戦と変革に取り組んでおります。このパーパスのもと、金融オンチェーン化の流れも踏まえ、これまでセキュリティトークンの取り扱いや、金融資産のトークン化、デジタルマネーの実証実験などを進めてきました。本実証実験を通じて、オンチェーン金融領域においては、新たなデジタル事業の可能性を探索し、高度化・多様化するお客さまのニーズに新たな価値や体験を提供することをめざしてまいります。

これまでのオンチェーン金融の主な取り組み

日付	取り組み概要
2026年6月10日	3行共同発行ステーブルコインの2026年度中の実取引の開始と共同で検討を進めるための協議会の設置について https://www.bk.mufg.jp/news/news2026/pdf/news0610.pdf
2026年3月4日	三菱UFJフィナンシャル・グループの運用・管理による「MUFGリアルティ・トークン大阪堂島浜タワー（譲渡制限付）」の公募および発行完了について https://www.sc.mufg.jp/company/news/000022880.pdf
2026年2月13日	ブロックチェーン×デジタルマネーによる伝統的資産の取引と権利移転に係る実証実験が金融庁「FinTech実証実験ハブ」の支援案件に採択 https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2026/pdf/news-20260213-002_ja.pdf
2025年12月4日	本邦初のトークン化投資信託の商品化に向けた基盤整備に関する協業開始 https://www.sc.mufg.jp/company/news/000022758.pdf

2025 年 11 月 7 日	複数の銀行による共同でのステーブルコイン発行とクロスボーダー決済の高度化に係る実証実験が金融庁「FinTech 実証実験ハブ」の支援案件に採択 https://www.bk.mufg.jp/news/news2025/pdf/news1107.pdf
2025 年 10 月 9 日	セキュリティトークン（ST）社債形式での国内公募無担保劣後社債の発行について https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2025/pdf/news-20251009-001_ja.pdf
2025 年 10 月 9 日	デジタルアセット事業の開始について https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2025/pdf/news-20251009-002_ja.pdf

4. DA 社について

Digital Asset (DA) は、ブロックチェーン技術分野をリードするイノベーターであり、Canton Network の開発企業です。Canton Network は、規制対象の金融市場向けに専用設計されたブロックチェーンであり、選択的開示によるプライバシー保護と、金融機関向けの高度なコントロール機能を実現します。

Canton は、ネットワークのガバナンスを担う独立した非営利組織である Canton Foundation によって運営されています。Digital Asset は、Canton Foundation の創設メンバーの一社です。

5. Progmatt 社について

Progmatt 社は、デジタルアセット発行・管理基盤「Progmatt」を提供する、国内トップシェア（セキュリティトークンの公開案件管理金額ベース、AuM 約 4,520 億円）のプラットフォーム提供会社です。2021 年 8 月に本邦初の不動産セキュリティトークン発行、2023 年 10 月に独立会社化、2026 年 2 月に既存案件の Avalanche 移行を含むマルチチェーン対応、2026 年 5 月に日本国債のトークン化に関する業界横断検討等を発表しています。

6. SF 社について

Secured Finance AG は、ブロックチェーン上で担保付資金取引を実現するプロトコルを開発する、スイス拠点のオンチェーン金融インフラ企業です。固定金利取引、満期管理、オーダーブック、担保管理等の市場機能を実装しています。UBS のトークン化 MMF「uMINT」における担保活用基盤を提供しているほか、2026 年 5 月より Progmatt/DCC の「トークン化国債・オンチェーンレポ WG」にレンディング・プロトコル領域で参画しています。

以上